

戦後の浴衣の軌跡に関する研究

－着物専門雑誌における浴衣に関するテーマ分析－

渡邊 芳道* 内山 道子** 知野 恵子*** 寺田 恭子****

The History of Yukata After the Second War

The Study of the themes about Yukata in the Kimono's magazines

Yoshimichi WATANABE, Michiko UCHIYAMA

Keiko CHINO, Kyouko TERADA

1. はじめに

日本の夏は暑いだけでなく、湿気もある。日本人が風呂好きであるのもそんな気候と密接に関係している。そしてこの風呂と切っても切れない関係にあるのが浴衣の歴史である。

もともと浴衣は「湯帷子」から転じたもので、平安時代は貴人が入浴に着用したのものである。当時は麻製で風呂は蒸し風呂であった。

木綿地が普及したのは江戸時代中期以降であり、この頃いわゆる湯船に入る温浴の習慣も広がり、浴衣は湯上がりに着るようになって庶民の生活に浸透していった。現在ならバスローブに当たる着方である。だから浴衣で外出することはなかった。現在のように昼間の外出にも着るようになったのは明治に入ってからのことである。

外出着として着るようになった最近では、伝統的な装いからカジュアルな着方まで様々である。そして、浴衣は風呂場から部屋着、外出着、更に若者のカジュアルなアイテムにその着こなしの範囲を広げ、カラフルな浴衣姿が定着し、日本の夏を華やかに彩って見せてくれるようになった。

本研究は、「きものに関するキーワード探索研究」(1～4報)から、非日常化するきものの中で、浴衣は夏のカジュアルな若者の人気アイテムに定着し、現代を代表するきもの1つであることが確認できた。その結果から、浴衣に関する戦後の軌跡調査を目的にし、1954年～2000年までの47年間のきもの専門誌「美しいキモノ」夏号の目次に「どのようなテーマで浴衣が登場しているか」、その内容や出現頻度について分析し、考察した。

*服飾美術学科 ファッションビジネス研究室 **服飾美術科 第3被服構成研究室

服飾美術学科 被服衛生学研究室 *服飾美術科 第3被服構成研究室

2. 研究方法

(1) 分析資料

きもの専門誌「美しいキモノ」夏号 出版社 婦人画報社

(2) 分析期間

1954年から2000年 47年間

(3) 分析項目

目次の中の「浴衣」「ゆかた」に関わるテーマ

3. 分析結果

(1) 年代別テーマとテーマ数

浴衣に関するテーマを年代別に調査すると、表1の通りである。

表1 年代別テーマとテーマ数

年代	テ ー マ	テーマ数
54年	瓜菖蒲のゆかた／私のゆかた染め／ゆかたで作った日傘とバッグ／私の描いたゆかた／浴衣のこと／藍型のちりめんゆかた／ゆかたのアンサンブル／ゆかたを着こなす稽古台に／ゆかたの着こなし／ゆかたの帯／こよみゆかた／首ぬきゆかた／婦人画報ゆかた	13
55年	なし	0
56年	しぼりの浴衣	1
57年	しぼりの浴衣	1
58年	初夏から夏のタベを楽しむ絞りのゆかた／趣味のちぢみのゆかた／たのしいゆかたのいろいろ／趣味のゆかた／薄物とゆかた	5
59年	しぼりの浴衣／若い人のしぼりの浴衣／茶花のゆかた／趣味の小紋ゆかた／プリント調のゆかた／しゃれた木綿のゆかた／野菜のゆかた／ゆかたの新しい着方／中形ゆかたの味・藍の味	9
60年	夏のタベをたのしむゆかた／趣味のゆかたと帯／'60東京本染め婦人画報ゆかた／アップリケのあるゆかた／新しいゆかたの柄／若い人のちぢみゆかた／御所解と格子ゆかた／自動車の柄のゆかた	8
61年	新しい創作ゆかた／縮みゆかた／風格のあるゆかた／楽しい絞りゆかた／ゆかたを愉しく着る／長坂の藍本染めゆかた／ゆかたと帯のアンサンブル／有松絞りのゆかた／江戸小紋ゆかた	9
62年	藍地のゆかた／江戸中形の趣味のゆかた／ゆかたで夏をたのしくすごす／古典調柄の趣味のゆかた／伝統の技術を生かした絞りゆかた	5
63年	夏の夕方の散歩をたのしむゆかた／家庭でくつろぐ二人のゆかた／ゆかたの季節／しぼりのゆかたを着て街を歩く／草花模様のゆかた／季節をたのしむ趣味の浴衣／ゆかたの柄	7
64年	避暑地でたのしむゆかた／三本紬のゆかた／綿縮みゆかた／花のゆかた	4
65年	リゾートウェアとしてのゆかた／避暑地での色変わりゆかた／たのしい絞りゆかた／上品な小紋調の中形ゆかた／さわやかな白地のゆかた／中形ゆかたの柄／紺地の絞りのゆかた	7
66年	'66のゆかた／ゆかた帯のむすびゆかた／ゆかたのものがたり	3

戦後の浴衣の軌跡に関する研究

年代	テ　　ー　　マ	テーマ数
67年	ゆかた	1
68年	紺地に白の絞りゆかた	1
69年	ゆかた／ゆかた帯	2
70年	楽しいゆかた／仕立方教室・ゆかた	2
71年	仕立方教室・ゆかた地のホームウェア	1
72年	おしゃれなゆかた	1
73年	この夏流行のゆかた集／ゆかたの似合うヘア・スタイル／ 仕立方教室・一反で姉妹お揃いのゆかた	3
74年	ゆかたで遊ぶ休日	1
75年	グッドライフのゆかた／ゆかたの脇役・下駄／ゆかた地の種類／ 歌舞伎好みゆかた／ゆかたの上手な選び方と着方／ 浴衣姿のビューティーケア／ゆかたに合うヘア・スタイル／ 藍染めのゆかた／仕立方教室・ゆかた地のレジャーウェア	9
76年	この夏のゆかた	1
77年	ゆかたで過ごす宵	1
78年	浴衣とおばあちゃん／ゆかたで過ごす夏休み	2
79年	ゆかたで楽しむ夏の風情	1
80年	特集ゆかた百科／ゆかたQ&A／ゆかたの生地と染め方／ ゆかたの着つけのポイントと帯結び／やさしいゆかたの仕立方	5
81年	ゆかた粋な夏姿	1
82年	素材で選ぶ趣味のゆかた	1
83年	ゆかた・くつろぎの中におしゃれを	1
84年	ゆかたでひたる下町風情	1
85年	ゆかたで洒落る夏姿／高級浴衣をおしゃれ着として着る／ゆかた／ 自分でできるゆかたのヘア・スタイル／東京ゆかたパーティ／ ゆかたの帯結び	6
86年	粋に着こなす高級ゆかた／夕涼みのゆかた／ モダンゆかたはおしゃれな気分	3
87年	染織研究（2）長板中形／ゆかたが粋に見えるとき／ やっぱり夏はゆかたがいいね	3
88年	特集ゆかた／趣味のゆかた・しゃれる夏／ファミリーゆかたで夕涼み／ ヤングゆかた「浅草界隈のゆかた散歩」／自分だけのゆかたを染める／ ゆかたが似合う夏の催事一覧／ゆかたの仕立てに挑戦	7
89年	高級ゆかたをおしゃれ着として着る／ヤングのゆかたコレクション／ 僕も私もゆかた大好き	3
90年	素材にこだわるゆかた／この夏は家族みんなでゆかた／ 素敵な夏の過ごし方「イキイキゆかた」／ ご存じですか？ゆかたの生地と染め	4
91年	ゆかたしっとりとして江戸好み／歌舞伎好みのゆかた／ ゆかたで過ごす楽しい楽しい夏休み／リゾートの必需品ゆかたと水着／ ゆかたのヘアカタログ／仕立て方教室・一反で作るゆかたと帯	6

年代	テ　　マ	テーマ数
92年	ゆかた／伝統の江戸ゆかた「月下美人」／ゲンキなゆかたでゴキゲンな夏／ゆかたがふたりのユニフォーム／充実・ゆかた小物／夏休みゆかた絵日記／夏のきもの相談室／初めてのきもの・おしゃれは自分でキメる／仕立方教室・やさしいゆかた	8
93年	特集'93ゆかたコレクションぜいたくな昼下がり／ 伝統のゆかたー夏の下町で／ Summer Vacation in Downtown／ 5人のデザイナーが提案するYUKATA STYLE／ 古き智恵をいとおしみ、今に思うその九「ゆかた絵巻」	5
94年	'94ゆかたコレクション／江戸期のゆかた「洒落好湯華錦絵」／ 湯上がりの贅を楽しむ／ゆかた姿のお父さん／ゆかたで遊ぶ！今年の夏／ きもの相談室ゆかたの着付けと帯結び／ゆかたのバッグコレクション	7
95年	特集ゆかたで楽しむ夏／涼やかな夏の宵／ゆかたと彼と夏が大好き／ ゆかた帯コレクション／下駄ーゆかたを彩る足もと	5
96年	ゆかたでつづる夏物語／新しい自分を発見・若い人向けのゆかた／ '96ゆかたブランドコレクション	3
97年	涼しさをまとうゆかたの本格派／ 海辺の別荘へ、家族と「ゆかた」で過ごす夏休み／ 少女とおとなのはざまで夢見る頃のゆかた物語／ 今年らしさを加味したゆかた小物カタログ	4
98年	特集'98ゆかたコレクション／江戸の匂いを夏に着る・長板中形／ 正統派ゆかたの端正な表情／夏を奏でるゆかたのメロディ／ 元気をくれるカラフルゆかた／ 仕立て方教室・一反で作る子供のゆかたと甚平	6
99年	特集'99ゆかたコレクション／通好みの本格ゆかた／ 素肌感覚で着たい藍で染めたゆかた／ ゆかたでセンスアップ自分らしさの演出／ 夏のおしゃれの定番アイテム今年の“ゆかた”はここで差を付ける！／ 初心者のための着つけ&帯結び・自分で浴衣を着てみよう／ 江戸の夏を着る長板中形	7
00年	2000年・夏ゆかたコレクション／高級ゆかたの涼やかな夏／ ゆかたで巡る江戸の匠／ポーラーのおしゃれ感／ ゆかたで小さな花火大会／ゆかたの着つけ&帯結び／ 中原潤淳一の絵画から生まれたふりそでゆかた／ デザイナーのこだわりが魅力のブランドゆかた	8
計		192

(2) 年代別テーマ内容の分析

浴衣に関するテーマを分析すると、内容は、大きく4つの項目 ①色・柄・素材 ②仕立て・手作り ③着方・小物 ④着こなしに分類することができた。

この分類項目に従って、次のように47年間のテーマを5年毎に分け、年代を前半と後半に区分し、テーマのことはを簡略化し表2から表11までを作成し、4項目の傾向推移を調べた。

1) 50年代前半

1954年(昭和29年)「美しいキモノ」創刊第2集夏号から分析が始まる。①色・柄・素材

表2 50年代前半 テーマ内容の分析

年	①色・柄・素材	②仕立て・手作り	③着方・小物	④着こなし
54	<ul style="list-style-type: none"> ・瓜葛蒲浴衣 ・こよみ浴衣 ・婦人画報浴衣 ・藍型の縮緬浴衣 ・首ぬき浴衣 	<ul style="list-style-type: none"> ・浴衣染め ・日傘とバッグ ・手描き浴衣 	<ul style="list-style-type: none"> ・浴衣の帯 	<ul style="list-style-type: none"> ・浴衣のこと ・浴衣のアンサンブル ・浴衣の着こなし ・浴衣を着こなす稽古台に
55	—	—	—	—

では「瓜葛蒲浴衣」「こよみ浴衣」「首ぬき浴衣」など柄に特徴がある。「婦人画報特集浴衣」また染めと素材を強調した「藍型の縮緬浴衣」などが登場し、柄、染め、生地のポイントがある。②仕立て・手作りでは自分自身で浴衣地を染めたり、傘やバッグの小物を手作りしている。③着方・小物において、組み合わせとしての帯がテーマに上がっている。同時に日常着としての浴衣の④着こなしについて4つのテーマが浮上している。

2) 50年代後半

①色・柄・素材 浴衣生地の展開が中心になっている。59年にはテーマ数が急増し、浴衣が盛んに商品化されたと考える。60年には、婦人画報オリジナル浴衣の特集を組んでいる。染めでは、中形も見られるが、特に絞りが多く次いで地風に特徴のある縮みを取り上げられている。柄では、小紋、茶花、プリント調、野菜、自動車、御所解、格子の柄など種類が増えている。③着方・小物については59年に「新しい着方」60年には浴衣と帯の組み合わせを初めて取り上げている。④着こなしについては場の設定が初めて出現した。②仕立て・手作りでは、「アップリケの浴衣」の作り方が登場している。

表3 50年代後半 テーマ内容の分析

年	①色・柄・素材	②仕立て・手作り	③着方・小物	④着こなし
56	<ul style="list-style-type: none"> ・絞り浴衣 			
57	<ul style="list-style-type: none"> ・絞り浴衣 			
58	<ul style="list-style-type: none"> ・絞り浴衣 ・縮み浴衣 ・浴衣のいろいろ ・薄物と浴衣 			<ul style="list-style-type: none"> ・趣味の浴衣
59	<ul style="list-style-type: none"> ・絞り浴衣 ・若向絞り浴衣 ・茶花の浴衣 ・小紋浴衣 ・プリント調の浴衣 ・木綿の浴衣 ・野菜柄 ・中型、藍の味 		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい着方 	
60	<ul style="list-style-type: none"> ・'60東京本染め婦人画報浴衣 ・新しい浴衣柄 ・縮み浴衣 ・御所解の浴衣 ・自動車の浴衣 	<ul style="list-style-type: none"> ・アップリケの浴衣 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味の浴衣と帯 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の夕べを楽しむ浴衣

3) 60年代前半

浴衣の商品化が進み、染め、柄、色、素材など浴衣生地を中心とする展開になっている。染めでは、相変わらず絞りが継続しているが、藍染め長板中形が登場している。柄では小紋、古典柄、草花柄、花柄など種類も増加している。色では藍地、白地、紺地の他に色変わり浴衣も登場している。生地では、縮み、三本縞など地風の新しさを上げている。この時期は豊富な浴衣地が市場に登場していたと思われる。③着方・小物については少ないが帯との組み合わせが浴衣に欠かせないテーマである。④着こなしは、毎年取り上げられ、「夏の夕方を楽しむ」「家庭でくつろぐ」などの普段着や避暑地、「リゾートウェアの浴衣」など旅行着として用途が広がっている。②仕立て・手作りのテーマが消えた。

表4 60年代前半 テーマ内容の分析

年	①色・柄・素材	②仕立て・手作り	③着方・小物	④着こなし
61	・縮み浴衣 ・絞り浴衣 ・長板藍本染 ・有松絞り ・江戸小紋 ・新創作浴衣		・浴衣と帯の アンサンブル	・風格のある浴衣 ・楽しく着る
62	・藍地の浴衣 ・江戸中形 ・古典調柄 ・伝統の絞り浴衣			・夏を楽しく過ごす
63	・絞り浴衣 ・草花模様の浴衣 ・趣味の浴衣 ・浴衣柄			・夏の夕方楽しむ ・家庭でくつろぐ ・浴衣の季節
64	・三本縞浴衣 ・綿縮み浴衣 ・花のゆかた			・避暑地の浴衣
65	・色変わり浴衣 ・絞り浴衣 ・小紋調中形 ・中形浴衣の柄 ・白地の浴衣 ・紺地の絞り			・リゾートウェアの浴衣

4) 60年代後半

浴衣のテーマが減少しているが、①色・柄・素材ではまだ浴衣地中心の展開で絞りが継続している。②仕立て・手作りで70年にはじめて浴衣の仕立てが登場している。③着方・小物で帯との組み合わせは浴衣に欠かせないテーマとして着方が注目されている。

表5 60年代後半 テーマ内容の分析

年	①色・柄・素材	②仕立て・手作り	③着方・小物	④着こなし
66	・66年浴衣		・帯の結び方	・浴衣物語
67	・浴衣			
68	・紺地に白の絞り		・浴衣帯	
69	・浴衣			
70	・楽しい浴衣	・仕立て方教室・浴衣		

5) 70年代前半

これまでの傾向とちがい、①色・柄・素材の項目が減少しているが、75年には伝統的な「歌舞伎好み」「藍染め浴衣」のテーマが出現している。②仕立て・手作りでは、「浴衣地のホームウェア」「一反で姉妹お揃いの浴衣」の提案や、③着方・小物では、「ヘア・スタイル」「下駄」「ビューティーケア」など、浴衣のトータルコーディネートがはじめて出現した。

表6 70年代前半 テーマ内容の分析

年	①色・柄・素材	②仕立て・手作り	③着方・小物	④着こなし
71		・仕立て方教室・浴衣地のホームウェア		
72				・おしゃれな浴衣
73	・この夏流行の浴衣集	・仕立て方教室・一反で姉妹お揃いの浴衣	・浴衣の似合うヘア・スタイル	
74				・浴衣で遊ぶ休日
75	・浴衣地の種類 ・歌舞伎好み浴衣 ・藍染めの浴衣	・仕立て方教室・浴衣地のレジャーウェア	・上手な選び方と着方 ・浴衣の脇役・下駄 ・浴衣姿のビューティーケア ・浴衣の合うヘア・スタイル	・グッドライフの浴衣

6) 70年代後半

前年同様、①色・柄・素材のテーマがほとんど出現していない。それに比べて④着こなしのテーマが増加し、浴衣の着装場面が提案されている。②仕立て・手作りの「やさしい仕立て方」「浴衣Q&A」のテーマから浴衣への興味がうかがえる。

表7 70年代後半 テーマ内容の分析

年	①色・柄・素材	②仕立て・手作り	③着方・小物	④着こなし
76				・この夏の浴衣
77				・浴衣で過ごす宵
78				・浴衣とおばあちゃん ・浴衣で過ごす夏休み
79				・浴衣で過ごす夏の風情
80	・特集浴衣百科	・浴衣の生地と染め方 ・やさしい浴衣の仕立て方	・浴衣Q & A ・着付けのポイントと帯結び	

7) 80年代前半

①色・柄・素材 ②仕立て・手作りのテーマ数が減少している反面 ④着こなしの場面での出現が多く、「浴衣粋な夏姿」「洒落る夏姿」「高級浴衣をおしゃれ着として着る」「東京

浴衣パーティ」など普段着としての浴衣より外出着としての扱いが取り上げられ、特に85年には増加している。③着方・小物についても、85年に「ヘア・スタイル」「浴衣の帯結び」と外出着の浴衣姿を美しく普段着とは別のコーディネートがうかがえる。

表8 80年代前半 テーマ内容の分析

年	①色・柄・素材	②仕立て・手作り	③着方・小物	④着こなし
81				・浴衣粋な夏姿
82	・素材で選ぶ浴衣			
83				・浴衣くつろぎの中におしゃれを
84				・浴衣でひたる下町風情
85	・浴衣		・自分でできる浴衣のヘア・スタイル ・浴衣帯結び	・洒落る夏姿 ・高級浴衣をおしゃれ着として着る ・東京ゆかたパーティー

8) 80年代後半

①色・柄・素材では「長板中形」「素材にこだわる」と高級化のテーマになってきている。80年代前半に続き④着こなしのテーマがさまざまな場面で出現し、「粋に着こなす高級浴衣」「モダン浴衣はおしゃれな気分」「粋に見えるとき」と浴衣がますます外出着的な要素を多く含むテーマになってきていると考えられる。また、88年、89年には「ヤング浴衣」「ヤングコレクション」と若者をターゲットとする浴衣がテーマに取り上げられはじめている。一方「ファミリーで夕涼み」「家族みんなで浴衣」と昔ながらの一般的な着こなしもあり、浴衣が多様化し、高級志向、ヤング、ファミリーと大きく3つの方向がうかがえる。

表9 80年代後半 テーマ内容の分析

年	①色・柄・素材	②仕立て・手作り	③着方・小物	④着こなし
86				・粋に着こなす高級浴衣 ・夕涼みの浴衣 ・モダン浴衣はおしゃれな気分
87	・長板中形			・粋に見えるとき ・夏は浴衣がいいね
88	・特集ゆかた	・自分だけの浴衣を染める ・浴衣の仕立てに挑戦		・ファミリー浴衣で夕涼み ・趣味の浴衣・しゃれる夏 ・ヤング浴衣 ・浴衣が似合う夏の催事一覧
89				・高級浴衣をおしゃれ着として着る ・ヤングの浴衣コレクション ・僕も私も浴衣大好き
90	・素材にこだわる浴衣 ・浴衣の生地と染め			・家族みんなで浴衣 ・素敵な夏の過ごし方「イキイキ浴衣」

9) 90年代前半

①色・柄・素材では具体的な浴衣生地のテーマではなく、「江戸好み」「歌舞伎好み」「伝

統の江戸浴衣」「江戸期の浴衣洒落好湯華錦絵」など江戸の匂いを今日に伝えるテーマが出現している。93年には初めてコレクションとしてテーマが提案された。②仕立て・手作りでは「一反で作る浴衣と帯」「仕立て方教室やさしい浴衣」などのテーマから、自分流の作り方として浴衣地を自由自在に組み合わせた、手作りのテーマが出現している。

③着方・小物では「リゾートの必需品浴衣と水着」のテーマから浴衣もリゾートウェアとして、水着と同等の位置付けがうかがえる。「浴衣小物」「帯結び」「浴衣帯コレクション」「下駄」などのテーマから小物と浴衣の組み合わせにこだわりがうかがえる。また、「5人のデザイナーの提案スタイル」のテーマからブランド浴衣の出現がうかがえる。④着こなしでは毎年多くのテーマが出現し、「楽しい」「ご機嫌な」「遊ぶ」や「湯上りの贅を楽しむ」「サマーバケーションインダウンタウン」など多様な場面での着こなしが提案されている。

表 10 90年代前半 テーマ内容の分析

年	①色・柄・素材	②仕立て・手作り	③着方・小物	④着こなし
91	・歌舞伎好みの浴衣	・仕立て方教室・一反で作る浴衣と帯	・リゾートの必需品浴衣と水着 ・浴衣のヘアカタログ	・しっとりとして江戸好み ・浴衣で過ごす楽しい楽しい夏休み
92	・浴衣 ・伝統の江戸浴衣	・仕立て方教室・やさしい浴衣	・充実・浴衣小物 ・浴衣相談室初めての着物・おしゃれは自分でキメる	・ゲンキな浴衣でご機嫌な夏 ・二人のユニフォーム ・夏休み浴衣絵日記
93	・特集'93コレクション		・古き智恵をいとおしみ「ゆかた絵巻」 ・5人のデザイナーが提案する浴衣スタイル	・伝統の浴衣夏の下町で ・サマーバケーションインダウンタウン
94	・'94浴衣コレクション ・江戸期の浴衣 ・「洒落好湯華錦絵」		・着物の相談室着付けと帯結 ・ゆかたのバックコレクション	・湯上がりの贅を楽しむ ・浴衣姿のお父さん ・浴衣で遊ぶ今年の夏
91			・浴衣帯コレクション ・下駄浴衣を彩る足もと	・特集浴衣で楽しむ夏 ・涼やかな夏の宵 ・浴衣と彼が大好き

10) 90年代後半

①色・柄・素材では93年に続きコレクションがテーマになり「正統派浴衣」「本格派浴衣」「高級浴衣」が提案され、伝統的な本格派浴衣がとりあげられている。③着方・小物では前半にくらべてテーマの提案が少ない。「浴衣の小物カタログ」や「着付け」「帯結び」など浴衣に付随される小物類が提案されている。④着こなしでは前半に引き続き多くのテーマが提案されている。ヤングから本格派まで広範囲が対象のテーマ、長板中形や藍染めと

いう本格派浴衣、デザイナーズブランド浴衣などのテーマが提案されている。また海辺、花火大会などはっきりした場面の設定が提案されている。

表 11 90年代後半 テーマ内容の分析

年	①色・柄・素材	②仕立て・手作り	③着方・小物	④着こなし
96	・'96浴衣ブランド コレクション			・新しい自分を発見 若い人向けの浴衣 ・浴衣でつづる夏物語
97	・浴衣の本格派		・浴衣小物カタログ	・海辺の別荘へ、家族で過ごす夏休み ・少女と大人の狭間で夢見る頃の浴衣物語
98	・特集'98コレクション ・正統派浴衣	・仕立て教室・一反で作る子供浴衣と甚平		・江戸の匂いを夏に 着る長板中形 ・夏を奏でる浴衣のメロディ ・元気をくれるカラフル浴衣
99	・特集'99コレクション ・通好みの本格浴衣		・初心者のための着付け&帯結び・自分で着てみよう	・浴衣でセンスアップ 自分らしさの演出 ・夏のおしゃれの定番アイテム今年はここで差をつける ・江戸の夏を着る長板中形 ・素肌感覚で着たい藍で染めた浴衣
00	・2000年・夏浴衣 コレクション ・高級浴衣 ・浴衣で巡る江戸の匠 ・ポーラのおしゃれ感 ・デザイナーのブランド浴衣		・着付け&帯結	・小さな花火大会 ・中原淳一の振袖浴衣

(3) テーマ内容項目別出現数

浴衣のテーマの推移をみるために、テーマ内容を5年毎に①色・柄・素材②仕立て・手作り③着方・小物④着こなしに分類し出現数をまとめると、表12の通りである。浴衣に関するテーマの重点度をみるために、出現数（*印の10以上）が集中している年代の特徴を推測した。

① 色・柄・素材

50年代後半と60年代前半にテーマが集中している。また90年代後半にも多く登場している。

表 12 テーマ内容項目別 5 年毎の出現数

年区分	①色・柄・素材	②仕立て・手作り	③着方・小物	④着こなし	合 計
51～55年	5	3	1	4	13
56～60年	*19	1	2	2	24
61～65年	*23	0	1	8	32
66～70年	5	1	2	1	9
71～75年	2	3	5	5	15
76～80年	1	2	2	5	10
81～85年	2	0	2	6	10
86～90年	4	2	0	*14	20
91～95年	6	2	*10	*13	31
96～00年	*11	1	3	*13	28
合 計	78	15	28	71	192

② 仕立て・手作り

どの年代も少ないが、手作りよりも仕立てに関するテーマが70年代以降高い。

③ 着方・小物

90年代前半にテーマが多く出現している。

④ 着こなし

80年代後半、90年代前半、90年代後半に多く出現している。

5年毎に合計数をみると、50年代後半から60年代前半、80年代後半から90年代を通して多く取り上げられ二極化している。60年代後半から80年代前半にかけて浴衣のテーマ数は誌面に少なく低迷している。

4. 要 約

① 色・柄・素材 ② 仕立て・手作り ③ 着方・小物 ④ 着こなしの各テーマの特徴を年代毎にまとめた。

50年代前半

- ① 柄、染め、生地にポイントがおかれている。
- ② 手作りの提案がされている。
- ④ 曖昧な着こなし提案である。

50年代後半

- ① 58年から60年にかけて急増する。
- ③ 帯との組み合わせが、初めて登場する。
- ④ 場の設定が初めて出現した。

60年代前半

- ① 浴衣生地 of 展開が中心である。柄の種類が増加する。
- ④ 浴衣の用途が広範囲になる。

60年代後半

- ① テーマ数が極端に減少するが、浴衣生地を展開である。
- ② 浴衣の仕立てが初めて登場する。

70年代前半

- ① テーマが減少し②・③へ重点が移行している。
- ② 仕立て方法の提案がみられる。
- ③ トータルコーディネートがはじめて出現する。

70年代後半

- ④ 着装場面のテーマが増加している。

80年代前半

- ④ 外出着としてのトータルコーディネートのテーマがさらに増加している。

80年代後半

- ① 高級化がテーマの特徴となる。
- ③ テーマがまったくみられない。
- ④ テーマがさらに増加し、高級志向、ヤング、ファミリーなど浴衣の多様化、ヤング浴衣の出現がこの年代の特徴になっている。

90年代前半

- ① 江戸の匂いを今日に伝えるテーマや「コレクション」という呼び方が出現している。
- ② 仕立て方が重視される。
- ③ リゾートウェアとして水着と同等の位置付けとなる。小物、帯、下駄などトータルコーディネートされる。
- ④ 毎年多くのテーマが出現し、多様な場面の提案がされる。

90年代後半

- ① 伝統的な本格派浴衣とヤング浴衣の二極化がみられる。
デザイナーズブランド浴衣が登場する。
- ④ ヤングから本格派まで広範囲な展開がみられる。
より具体的な着こなし設定の提案がなされる。

5. まとめ

戦後47年間の浴衣の軌跡を年代順に考察した。

50年代前半は、生地の名前、色柄の呼び方、着方、着こなしなど浴衣についての関心が戦後とはいえまだ高かった。

50年代後半から60年代前半は、生地を展開が多い。60年代前半（昭和30年代の後半）は高度経済成長期であるが、浴衣は生地で市場に定着し、自分で縫って着用していた人たちがまだ存在していた。

60年代後半はテーマ数が急激に減少するが、その要因は業界事情が反映されていると思わ

れる。浴衣よりもより高価な着物に移行したためと推測される。仕立てのテーマが登場したのはこの頃からすでに浴衣を仕立てられない人が増えてきたと思われる。このことは、浴衣の知識が徐々に失われつつあったといえる。つまり、高度経済成長と共に日本の伝統文化や旧来の生活様式が失われる一方で、既製服化が進展し、和服よりも洋服が衣生活に定着しつつあった。

70年代から80年代全般は、婦人既製服が年率13%の成長率で市場に定着し、反対に浴衣は衣生活に占める割合が少なくなった。

80年代後半から90年代を通じて、浴衣に関する着こなしテーマが多く取り上げられている要因は、このころからファッション傾向に伝統回帰の気運がみられ、徐々に伝統文化が見直され、浴衣への関心が高まってきた。つまり、ファッションにおけるエスニック（民族調）やジャポニズム（日本調）の影響も見逃せないが、内なる国際化によって日本人のアイデンティティとしての伝統文化への興味が、バブル崩壊後のカジュアル化によって、若者の間に浴衣が夏の新鮮なアイテムとして復活し開花したと考えられる。

参考文献

- 1) 美しいキモノ. 東京, 婦人画報社. 1953. 創刊号～2000夏号
- 2) きものに関するキーワード探索研究. 東京家政大学生生活資料館紀要. 第2集. 1997.
p.45～56
- 3) きものに関するキーワード探索研究(第2報). 東京家政大学博物館紀要. 第3集. 1998.
p.75～87
- 4) きものに関するキーワード探索研究(第3報). 東京家政大学博物館紀要. 第4集. 1999.
p.91～103
- 5) きものに関するキーワード探索研究(第4報). 東京家政大学博物館紀要. 第5集. 2000.
p.81～93
- 6) 最新きもの用語辞典. 東京, 文化出版局, 1987.
- 7) 木村考のきもの・しきたり辞典. 東京, 婦人画報社, 1988.
- 8) 藤本やす他: 被服平面構成. 東京, 衣生活研究会, 1991.
- 9) 田中千代: 新・田中千代服飾辞典. 東京, 同文書院, 1991.
- 10) 和裁・初級編. 東京, 財団法人日本ファッション教育振興協会和裁専門委員会, 1995.
- 11) 和裁・中級編. 東京, 財団法人日本ファッション教育振興協会和裁専門委員会, 1995.
- 12) 荒木健也: 染色シリーズ(2)・友禅. 東京, 装道出版局, 1997.
- 13) 荒木健也: 染色シリーズ(5)・中形・江戸小紋. 東京, 装道出版局, 1995.
- 14) きもの教本. 東京, 財団法人民族衣装文化普及協会, 1980.
- 15) 日本服飾小辞典(I). 東京, 源流社, 1979.
- 16) きもの用語大辞典. 東京, 装道出版局, 1991.
- 17) 呉服に強くなる本. 東京, 日本繊維新聞社, 1997.
- 18) ファッション教育99. 東京, 財団法人日本ファッション教育振興協会(1999). p.77～88
- 19) ファッション辞典. 東京, 文化出版局, 1999.